

令和4年度災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会 開催要綱

1 目 的

北海道社会福祉協議会では、平成29年4月から常設型の「北海道災害ボランティアセンター」を設置し、災害時におけるボランティア活動の支援体制整備を進めております。

従来の災害ボランティアセンターの支援は、全国の多様な外部支援者を募り、地元支援者と連携して被災者支援を行ってきましたが、昨今の同時多発・広域災害の発生や新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地元における支援体制を強化し、多様な地域住民に災害時の支援の担い手として協力が得られるよう、これまで以上に推進することが求められます。

そこで本研修は、災害時に起こりうるニーズや支援のイメージを明確にし、地域の特性に応じた支援体制の構築を考えるとともに、地元において、災害時における支援の担い手を養成し、支援体制の強化に取り組む人材を育成することを目的に開催いたします。

2 主 催 北海道災害ボランティアセンター（社会福祉法人北海道社会福祉協議会）

3 日 程 令和4年6月13日（月）13時00分～17時00分（入室12：30～）

4 開催方法 オンライン開催（ZOOM）

5 参加対象

- ・平時や災害時の支援体制整備の実務に関わる市区町村社会福祉協議会職員
- ・災害ボランティアセンターや災害時の支援に関わる行政職員、NPO・関係団体の職員等

6 参加費 無料

7 定 員 100アカウント（詳細は、別紙「参加定員の考え方について」参照）

8 参加申込み方法

（1）申込みの際の注意事項

- ①グループ演習実施のため、原則1アカウント当たり1名でお申込みください。1つの団体・法人等から複数名（複数アカウント）でご参加いただく場合も、必ず1名ずつお申込みください。
- ②上記による参加が困難な場合、複数名で同一アカウントを使用しご参加いただくことも可能ですが、その場合、定員上は1アカウント（1名の参加者）として取り扱います。「参加代表者」を1名決めてお申込みください。
- ③参加申込時に回答された個人情報は、本研修の運営にのみ利用させていただきます。

(2) 申込み方法詳細

- ①下記URL (Google フォーム) に必要事項を入力の上、6月6日(月)までにお申込みください。

参加申込	Google フォームへ進む
------	--------------------------------

- ②上記「Google フォーム」による申込みが難しい場合は、別紙「参加申込書」に必要事項を入力の上、こちらのメールアドレス (d-vola@dosityakyo.or.jp)まで、ご送信ください。

9 プログラム

項目	内容
事前視聴 (任意)	動画視聴「災害ボランティアってなんだろう？」 ※ 災害ボランティアや災害ボランティアセンターについての基本を説明した動画となります。当日はこちらについて、ご理解いただいている前提で研修を進めますため、上記について、知識に自信がない方は事前のご視聴をお薦めします。 URL : https://youtu.be/4CQUxsPDsbc
時間	内容
12:30~13:00 (30分)	Z o o mミーティングへの入室時間 ※ 本研修の参加に必要な情報 (URLやミーティングID、パスコード) や研修資料等は、 <u>6/8 (水)</u> までに、参加申込時にご入力いただきましたメールアドレスに送付いたします。
13:00~13:05 (5分)	開会・オリエンテーション
13:05~13:15 (10分)	基調説明「本研修の狙い・災害ボランティアコーディネーターとは？」 説明：北海道災害ボランティアセンター 一戸
13:15~14:15 (60分)	講演「社協がなぜ、被災者支援を期待されるのか ～ ソーシャルワークとボランティアコーディネーション」 講師：(特非) にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏
14:15~14:25 (10分)	質疑応答
14:25~14:35 (10分)	休憩
14:35~15:20 (45分)	講演「被災者支援における新型コロナウイルスの影響」 講師：(一社) ピースボート災害支援センター 垣貴 紀彦 氏
15:20~15:30 (10分)	質疑応答
15:30~17:00 (90分)	グループワーク (45分) × 2回 (グループ協議 30分、発表 5分、解説 10分)
17:00	閉会

10 研修講師（団体）の紹介

一般社団法人ピースボート災害支援センター（PBV）

東日本大震災を受けて「人こそが人を支援できる」を理念に2011年4月に設立。以降「国内外の災害救援」「防災・減災への取り組み」を中心に活動を行っている。これまでに海外24ヶ国、国内54地域での被災地支援を実施、延べ9万人以上のボランティアをコーディネート。その経験を基に平時には様々な形で防災減災の取り組みを行っており、中でも防災・減災教育プログラムは「災害ボランティア」「自治会や地域住民」「災害ボランティアセンター運営者」「行政」等、対象や目的に合わせた研修や訓練をこれまで900回以上実施し、延べ受講人数は35,000人以上にのぼる。

主な支援先…東日本大震災：宮城県石巻市等（継続中）、

関東・東北豪雨：茨城県常総市等、熊本地震：益城町・西原村等、

胆振東部地震：厚真町・安平町・むかわ町、2019年台風15号：鋸南町等

2020年7月豪雨：球磨村・人吉市 等

主な研修実績…災害ボランティアセンター運営者研修

主催：全国社会福祉協議会

各開催地（茨城、福井、岡山、福岡等）県社会福祉協議会 他多数

特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏

1974年山形県山形市生まれ（現在は新潟県在住）。新潟大学法学部法学科卒業。2004年に地元で発生した水害で自分自身が被災。3ヶ月後に発生した中越大震災の際には1ヶ月ほどボランティア活動に参加。その後、中越大震災で知り合ったボランティア仲間から誘われ『にいがた災害ボランティアネットワーク』に。全国各地で①行政・社協・青年会議所・NPOのスタッフや地域住民を対象とした講演・研修の講師、②マニュアル策定や訓練監修、③非常時の事業継続・再編計画の助言などを行っている。災害時には日本全国の被災地へ緊急救援スタッフとして派遣され、被災された方の一日も早い暮らしの回復に向け、災害ボランティアセンター設置運営を中心とした支援活動。また、災害復興期のボランティア・市民活動支援もお手伝いしている。災害ボランティア活動支援プロジェクト会議委員。

11 「Zoomミーティング」の使用に係る留意点

（1）本研修への参加について

①本研修の参加は、事前に「Zoomミーティング」アプリケーションのダウンロードやアカウント取得をされなくても可能です。本会より事前に送付するURL、ミーティングID、パスワードによりご使用・ご参加いただけます。

②Zoomミーティングへの参加が初めての方は、事前に以下URLより接続テストを行っていただくことを推奨いたします。

〔Zoomテスト〕 <https://zoom.us/test>

③Zoomミーティングの操作方法に関する問合せにつきましては、Zoomヘルプセンター等をご確認ください。

〔Zoomヘルプセンター〕 <https://support.zoom.us/hc/ja>

(2) 通信環境や必要機器等について

- ①研修受講に関わるインターネット環境整備やインターネット通信費用に関しては、各自でご対応ください。
- ②安定かつ高速な通信環境を推奨いたします。パソコン等にカメラやマイク、スピーカーが内蔵されていない場合は、別途ご用意いただく必要があります。
- ③ミーティング内や周囲の音声が漏れることを防ぐために、人が少なく音漏れの心配がない場所で参加されるか、ヘッドセットの使用を推奨いたします。
- ④同じ場所で複数のマイクやスピーカーを使用すると、ハウリング（不快な音声が発生する等の音声トラブル）が発生しますのでご注意ください。マイクを1台にする、発言者以外はマイク機能をオフにする、スピーカーを使わずにヘッドセットを使用する等により、ハウリングの発生を防止できます。

(3) 研修参加について

- ①申し込みいただいた方の参加確認のため、当日は「ビデオを開始」して常時顔の見える状態にし、「表示名」は所属や氏名がわかるものに設定してください。（本会より指定いたします）
- ②研修中は発言者以外のマイク機能をオフ（ミュート）にしてください。
- ③表示を「スピーカービュー」に設定すると、発言者を拡大表示できますので、講師の説明時間は「スピーカービュー」に設定してください。なお「ギャラリービュー」に設定すると研修参加者全員を表示することができます。
- ④プログラムの演習では、「Zoomミーティング」の機能の1つである「ブレイクアウトルーム」を使用したグループ演習を行います。

(4) 禁止事項

本研修の資料や動画・音声等の一部及びすべてを撮影・録画・録音することや2次利用（複製・転載等）すること、詳細内容についてSNS等に投稿することを禁止とさせていただきます。

12 その他

- (1) 本研修を受講されることにより、令和4年冬に開催予定の「初期支援者養成・資質向上研修会」(※ 内容を調整次第、別途ご案内いたします)にご参加いただけます。「初期支援者養成・資質向上研修会」は、居住地外での発災初期における行動や心構え(被災地への応援)の習得を目的として開催いたします。災害支援の体制整備に向けて、こちらの研修受講についても併せてご検討ください。

13 お申込み・問合せ先

北海道災害ボランティアセンター（北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課内）

担当：一戸・坂本

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる 2.7 2階

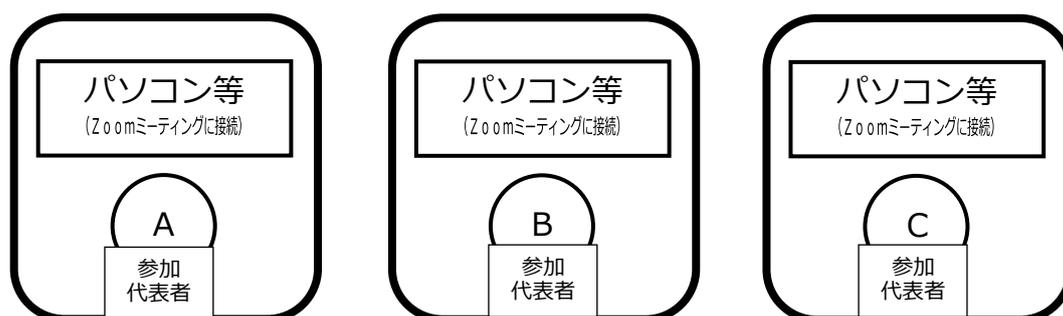
TEL 011-271-0683 / E-Mail d-vola@dosityakyo.or.jp

参加定員の考え方について

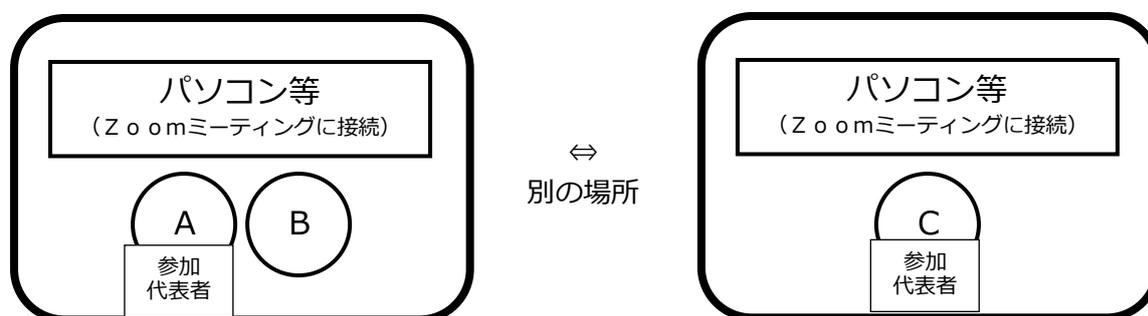
たとえば、市町村社協に所属する職員が3名（職員A・B・Cとする）参加する場合、次の3つのパターンが想定されます。

① 3台のパソコン等を使って3名が参加する場合（それぞれ別の場所）

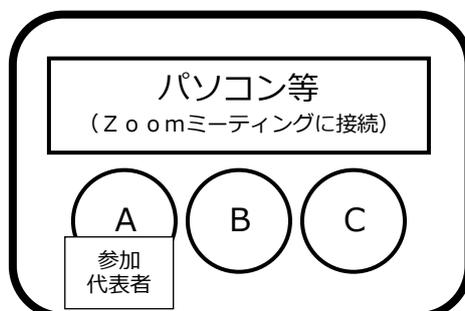
⇒ 参加定員上は3アカウントで計算。※ **本研修ではこの参加方法を推奨いたします。**



② 2台のパソコン等を使って3名が参加する場合 ⇒ 参加定員上は2アカウントで計算。



③ 1台のパソコン等を使って3名が参加する場合 ⇒ 参加定員上は1アカウントで計算。



※ **参加申込みは1アカウントごとに別々に行ってください** ※